

令和4年度「地理A」シラバス

【単位数：2単位 履修年次：2年次】

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的な見方や考え方を培う。</p> <p>2 世界各地の地域性を多角的な視点から見ることや、日本・沖縄・生徒自身の生活との関連性を知ること、異文化理解を深める。</p> <p>3 現代の諸課題を地理的な考え方や多角的な視点で考察させることにより、国際社会に生きる公民としての自覚と資質を養う。</p>
使用教科書 副教材等	「高校生の地理A」 帝国書院

2. 学習計画および評価方法等

(1) 学習計画など

学期	月	学習内容	学習のねらい
前期	4	オリエンテーション 第1章 旅からとらえる現代社会 ①海外旅行を身近にしたもの ②丸い地球と平らな地図 ③緯度・経度が違うと何が違う？	ハブ空港の重要性を理解する。 地球を地図に置き換える様々な図法について考察する。 経度と緯度の違いを理解する。
	5	第2章 世界の自然環境と文化 第1節 地形 ①躍動する大地 ②川がつくる地形 ③海岸・氷河・カルスト地形	地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解する。 川がつくる地形、海岸地形・氷河地形・カルスト地形の特徴やそれらがみられる地域の人々との関わりについて理解する。
	6	第2節 気候 ①地域による気候の違いと生活 ②熱帯・乾燥帯の気候と人々の生活 ③温帯・亜寒帯・寒帯の気候と生活	気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の気候区分の分布や特徴を理解する。
		第3節 文化 ①宗教・言語と人々の生活 ②生活・文化のグローバル化	主要な宗教の特徴や人々の生活との関わりについて考える。 グローバル化が進む世界とその影響を考える。
		第3章 世界の諸地域の生活・文化 第1節 中国 ①中国の自然と社会	どのような自然環境の地域に中国の人口が集中しているかを理解する。 中国における工業化の変遷と「世界の工場」と

前期	7	②中国の農業の変化と工業の発展 第2節 韓国 ①韓国の自然・文化・歴史 ②韓国の産業と生活の変化	呼ばれるようになった背景について理解する。 朝鮮半島の自然環境・文化・歴史について、日本との類似点と相違点に注目して考察する。
	8	第3節 東南アジア ①東南アジアの自然・文化・農業	東南アジアの自然環境・文化・歴史について理解するとともに、モノカルチャー経済からの脱却のために進められた工業化の特徴を理解する。
	9	②工業の発展とASEAN 第4節 南アジア ①南アジアの自然 ②ヒンドゥー教の世界と産業	
		第5節 中央アジア・西アジア・北アフリカ ①自然とイスラームというまとまり ②豊かな資源と生活の変化	インドの自然環境・文化・歴史について理解するとともに、ヒンドゥー教の特徴と社会集団としてのジャーティーについて理解する。 中央アジアから北アフリカの地域の自然環境にはどのような特徴があるかを理解する。 この地域で広く信仰されるイスラームの歴史と伝播について理解する。
	【課題・提出物等】 1 授業ごとのプリント提出 2 夏休み等、必要に応じて課題を提出させる場合もある。		
【前期の評価方法】 1 授業への参加意欲や態度・授業プリント・発問評価・授業ワーク・定期考査等で評価する。 2 定期考査等6割程度、提出物・授業態度など4割の配分で評価を行う。			
後期	10	第6節 サハラ以南のアフリカ ①サハラ以南の自然・生活・文化 ②豊富な資源が生み出す光と影	アフリカの自然環境の特徴を理解するとともに、ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する。
		第7節 ヨーロッパ ①ヨーロッパの自然・生活・農業・工業 ②ヨーロッパの統合	ヨーロッパの多様な地形・キリスト教と結びついた文化・農業・工業について理解するとともに、EUへの統合の歩みを確認する。
	11	第8節 ロシア ①ロシアの文化・民族・自然 ②生活の変化と産業の発展	南北差と東西差に注目して、広大なロシアの自然環境の特徴を理解するとともに、産業や経済を支える資源をめぐる動きを理解する。
		第9節 アメリカ合衆国 ①アメリカ合衆国の自然・農業・工業 ②移民国家としての歴史と多文化社会	アメリカ合衆国の自然・農業・工業を理解するとともに、移民の歴史に注目し、他民族・多文化の社会が形成された過程を理解する。

後 期	12	第10節 ラテンアメリカ ①ラテンアメリカの自然・歴史・文化 ②ラテンアメリカの産業と課題	ラテンアメリカの自然・歴史・人種・民族について理解するとともに、大土地所有制と農業の変化について理解する。
	1	第11節 オセアニア ①オセアニアの自然と観光 ②オセアニアの歴史・産業・多文化社会	オーストラリアとその周辺の自然・農業・鉱工業について理解するとともに、オーストラリアの多文化社会の形成過程について理解する。
	2	第4章 地球規模で広がる課題 ①世界の人口・食料・都市・資源問題 ②世界の環境問題	世界の人口・食料・都市・資源・環境問題について理解する。
	3	第2部 身近な地域の課題 第1章 身近にあるさまざまな地図 ①身近な地図とその特色 ②目的に応じた地図表現	一般図と主題図について理解する。 GPSとGISの仕組みについて理解する。 地図を作成する際の留意点について考察する。
		第2章 日本の自然環境と防災 ①日本の地形 ②火山災害・水害と防災	日本の地形・気候の特徴をとらえる。 地震災害・火山災害・水害の特徴と災害に備えた取り組みを理解する。
		第3章 身近な地域の課題と地域調査	身近な地域の課題について考察する。

【課題・提出物等】

- 1 授業ごとのプリント提出
- 2 冬休み等、必要に応じて課題を提出させる場合もある。

【後期の評価方法】

- 1 授業への参加意欲や態度・授業プリント・発問評価・授業ワーク・定期考査等で評価する。
- 2 定期考査等6割程度、提出物・授業態度など4割の配分で評価を行う。

(2) 評価の観点

	評価の観点および内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命最後までやろうと努力する意欲や態度がみられるか ・世界の地理に対する関心を高めているか。 ・意欲的に課題を追求するとともに、学習を通じて、市民としての責任を果たそうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での態度 ・授業プリント ・発問評価 ・授業ワーク ・定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的事象から課題を見いだしているか。 ・地域性を踏まえて多面的・多角的に考察しているか。 ・国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ワーク ・発問評価 ・発表評価 ・定期考査
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地理に関する基本的な事項と自分自身の在り方・生き方を関連づけて主体的に理解し、その知識を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・授業ワーク ・定期考査

